

統合失調症テスト(1)

統合失調症では、脳内で神経伝達物質の ドーパミン が過剰に放出されています。これにより過覚醒状態に陥り、症状が出現します。

精神科で用いられる薬には、次のものがあります。

抗精神病薬	抗不安薬	抗うつ薬
睡眠薬	抗パーキンソン薬	気分安定薬

中でも 抗精神病薬 は、統合失調症の治療において、最も重要です。

なぜなら、この 抗精神病薬 は脳内の神経伝達物質、その中でも主に ドーパミン を抑えることで効果を発揮します。単に症状を改善するだけではありません。再発予防 や長期予後の改善に重要な役割を持っています。

(各 20 点)

点

統合失調症テスト(1)

統合失調症では、脳内で神経伝達物質の_____が過剰に放出されています。これにより過覚醒状態に陥り、症状が出現します。

精神科で用いられる薬には、次のものがあります。

抗精神病薬	抗不安薬	抗うつ薬
睡眠薬	抗パーキンソン薬	気分安定薬

中でも_____は、統合失調症の治療において、最も重要です。

なぜなら、この_____は脳内の神経伝達物質、その中でも主に_____を抑えることで効果を発揮します。単に症状を改善するだけではありません。_____や長期予後の改善に重要な役割を持っています。

(各 20 点)

点
